

関西のインフラ強化を進める会
西日本の連携強化に向けて
～課題とインフラ～

平成30年10月25日

(一財)国土技術研究センター理事長
芝浦工業大学客員教授

谷口 博昭

目次（議論のための切り口）

- 1. “西日本”の意義
- 2. “西日本”の課題
- 3. これまでの国土計画
- 4. “西日本”の現状
- 5. 大阪の現状
- 6. 我が国土と暮らし
- 7. 暮らしとインフラ
- 8. 公共事業の話題
- 9. ビッグピクチャー（全体俯瞰図）～財源の裏付けがあり信頼される長期計画～
- 10. ビッグ・ピクチャーとインフラの具体化
- 11. 連携強化へ

1. “西日本”の意義

- インバウンド、2025大阪万博招致、IR誘致等で元気が出てきた時期、**タイムリーな構想**
- 防災・減災等に資する**国土強靱化、地方創生＝まち・ひと・しごと創生の理念**
即ち、過度の東京一極集中を解消し、地域の特色のある自立的発展を促進する理念に**合致**

2. “西日本”の課題

- “西日本”とは？
- 総論賛成各論反対？になりがち
- 各地域相互互恵へ、Give & TakeでWIN=WINへ
- “西日本”の具体化へビッグ・ピクチャーを
- 一体化へ、各地域のインフラ強化の会発足
- 持ち回り開催、交流活性化へ、インフラの強化を

3. これまでの国土計画

- 全国総合開発計画 (S37～H10、1次～5次)
1次; 均衡ある発展
4次; 多極分散型
5次; 多軸型国土
- 国土形成計画
成熟社会型の計画、分権型の計画づくり
全国計画 + 広域地方計画 (8B + 北 + 沖)
- 西日本 = 近畿7県 + 中国5県 + 四国4県 + 九州8県 + 沖縄、現状 (右参照) と今後？

4. 西日本の現状

- 西日本＝近畿7県＋中国5県＋四国4県＋九州8県＋沖縄
- 1920(大正9)年2551万人(45.6%)
- 1945(昭和20)年3138万人(43.1%)
- 1970(昭和45)年4206万人(40.2%)
- 1995(平成7)年4811万人(38.3%)
- 2015(平成27)年4725万人(37.2%)
- 出展；Wikipediaの都道府県の人口一覧(1945年沖縄県空欄を前後の数値で和半)
- 今後？
西日本国土軸(20XX年人口80%)／東京圏を中心に名古屋圏＋仙台圏(2035年人口75%)

5. 大阪の現状

～世界主要42都市の比較～

- 総合スコア①ロンドン②NY③東京④パリ⑤シンガポール; **大阪22位**
- 経済①東京②ロンドン③NY④北京⑤香港; **28位大阪**
- 研究・開発①NY②東京③ロンドン④LA⑤ソウル; **大阪12位**
- 文化・交流①ロンドン②NY③パリ④シンガポール⑤東京; **大阪27位**
- 居住①パリ②ベルリン③ウィーン④バルセロナ⑤フランクフルト; 東京6位、**大阪8位**
- 環境①フランクフルト②チューリッヒジュネーブ③ジェノバ④シンガポール⑤ウィーン; 東京12位、**大阪29位**
- 交通・アクセス①ロンドン②パリ③香港④上海⑤アムステルダム; 東京11位、**大阪23位**
- 出所; 森記念財団都市戦略研究所; 世界の都市総合ランキング2017 = Global Power City Index 2016

6. 我が国土と暮らし

- 脆弱な国土
脊梁山脈、河川急流、沖積平野、軟弱地盤
- 災害列島
毎年大きな災害、本年6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、9月台風21号、北海道胆振東部地震、台風24号
- 南北3千キロに6852の島等多様な気候風土の中で災害と折り合いをつけ生活を営む暮らし

7. 暮らしとインフラ

- INFRA・STRUCTURE／暮らしや産業を支える
下部構造
- 治水、溜め池、街道、港、鉄道、空港、高速道路、
新幹線・リニア等イノベーションを遂げながら進化
- 脆弱な国土、生活経済社会の発展・高度化のため、
インフラの整備水準は途半ば
- 安全・安心と高速性の向上、信頼性、アメニティ
等へ評価方法を改善し整備・保全を、需要創造へ

8. 公共事業の話題

経済財政諮問会議

- H29. 4月／**安定的・持続的な公共投資を確保し、社会資本整備を計画的に推進することを発言**(石井大臣)11月同趣旨発言
- H30. 3. 29.「持続的な経済財政の構築に向けて」社会保障給付とインフラ維持管理更新負担の中長期的展望と政策対応
- 6・15骨太方針／プライマリーバランス、当初予算での景気対策
- **3カ年防災・減災等国土強靱化**

財政制度等審議会

- H28.11.17平成29年度予算編成等に関する建議／「量」から「質」へ。**人口減少社会の本格的な到来も踏まえれば、引き続き総額の抑制を**
- H29.10.17同趣旨
- H30.5.23日本の社会資本整備は概成しつつある。量から質へ。新技術活用**のコスト縮減、維持管理・更新コストの増高を抑制等**
- **8月概算要求、10%減＋特別枠活用／12月閣議決定へ**

9. ビッグピクチャー（全体俯瞰図）

～財源の裏付けがあり信頼される長期計画～

- 長期的な視野に立って、“西日本”全体最適のビッグ・ピクチャー（全体俯瞰図）を策定・共有、優先順位に基づく計画的・効率的展開が肝要
- 財政再建と経済再生の両立と脱デフレ促進の観点から、金融政策頼みでなく弾力的・機動的な財政政策で成長軌道に乗せることが必要
- 生活経済社会の高度化、GDPに見合ったインフラ整備・保全と財源確保を

10-1. ビッグ・ピクチャーの具体化

- 視点1. アジアからの日本のゲートウェイ
視点2. “スーパー・メガリージョン”時代の西日本、そして関西
視点3. 複眼型国土構造
- “西日本”形成へ、『LOOK WEST』の具体化を／南海経済軸の形成、瀬戸内クルーズネットワークの整備等
- 各地域の相互関係を樹立（相互交流か？）し、プロジェクトの具体化を

10-2. インフラの具体化

- 財源の裏付けのあるビッグ・ピクチャーの下まは**巨大災害への備えを、事後から事前対策へ**
- “西日本”インフラ;
国際空港連携強化＋陸海空の一貫輸送体系へ、**リニアの大阪までの早期実現＋海峡間都市連携強化**から西日本軸形成へ
- 関西インフラ; 各地域インフラインのセンチブへリニア駅のアクセス改善と新大阪周辺再開発、水の都・大阪都心部における今後の都市開発等

11. 連携強化へ、諦めず、やり抜く

- 大きな価値観の共有と参加と責任の精神で連携強化へ
- 原口忠次郎「人生せべからく夢なくしてかないません」
- 小泉信三「平生の心がけ、国土の姿」